



平成 19 年 11 月 29 日

各 位

会 社 名	株 式 会 社 免 疫 生 物 研 究 所 (コード番号: 4570)
本 店 所 在 地	群 馬 県 高 崎 市 あ ら 町 5 番 地 1
代 表 者	代 表 取 締 役 社 長 清 藤 勉
問 合 せ 先	取 締 役 経 営 企 画 室 長 伊 藤 勝 彦
電 話 番 号	027-310-8040 (代表)
U R L	http://www.ibl-japan.co.jp

タンパク質製造技術に関する業務提携合意についてのお知らせ

本日、株式会社免疫生物研究所（本社：群馬県高崎市、社長：清藤 勉、以下「免疫生物研究所」）は、株式会社ネオシルク（本社：広島県東広島市、社長：柳川 佳信、以下「ネオシルク」）と、抗体を含む各種タンパク質の製造技術の早期実用化に向けて業務提携することに合意いたしました。

このたびの業務提携の合意によって、抗体を含む各種タンパク質の製造技術に関する共同研究が開始されます。さらに、この業務提携をより強固なものにするため、免疫生物研究所は、ネオシルクへの出資を決定いたしました。

免疫生物研究所の代表取締役社長清藤 勉は、次のようにコメントしています。「抗体をはじめとするタンパク質を研究用試薬として供給する当社にとって、ネオシルクと出資を含む業務提携を合意できたことは大変喜ばしいと思っております。ネオシルクは、タンパク質を容易に精製できる効率の良い製造法を開発している企業であります。将来的には海外企業が優勢となっているタンパク質医薬品の製造にも一矢を報いることができるのではと期待しています。」

一方、ネオシルクの代表取締役社長柳川 佳信は、「このたび、群馬県に本社を置く免疫生物研究所との業務提携に大いに期待しています。免疫生物研究所は、抗体を含むタンパク質の研究、製造、販売で実績のある会社であります。また、群馬県は明治時代から養蚕の盛んな土地であり、当社のカイコを利用したタンパク質の製造技術を発展させるのには最も適している地であると考えております。このように、免疫生物研究所は、当社の技術を早期に実用化できる最良のパートナーと信じています。」と述べております。

株式会社免疫生物研究所について

1982年に、医薬品、医薬部外品及び研究用試薬の研究、製造、販売を目的に設立されました。抗体を中心とする免疫学の研究成果を基に、研究用試薬の供給及び医薬シーズのライセンス事業をおこなっております。従業員は、68名であります。詳細は<http://www.ibl-japan.co.jp> まで。

株式会社ネオシルクについて

2005年に、組換えタンパク質の大量生産と新規タンパク質材料の開発を目的に設立されました。組換えタンパク質の受託生産を柱に、高機能絹繊維・バイオマテリアルの開発及び組換えタンパク質医薬品の開発の事業をおこなっております。詳細は<http://www.neosilk.co.jp> まで。